

畜産ネットワーク ちば

2024年2月9日
第59号

発行所 公益社団法人千葉県畜産協会
〒260-0021
千葉市中央区新宿1-2-3
K&T千葉ビル3階
発行人 森 英介

年頭にあたって

新年に当たり、1月1日に発生した令和6年能登半島地震について、お亡くなりになられた方々に改めてお悔やみを申し上げますとともに、被害にあわれました全ての方々に心よりお見舞いを申し上げます。

平素より、当会の事業につきまして特段のご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年は、年明け早々に高病原性鳥インフルエンザの発生で始まり、県を中心とした業界一丸となった封じ込めにより県北東部で数例の続発にとどめたことは不幸中の幸いでした。

また、畜産経営に重要な影響を及ぼす飼料価格については、一昨年に引き続き国際情勢の影響から高騰の後、高止まりとなり、今なお変わらない状況となっています。

このほかにも、燃油、電気代の高騰、豚の慢性疾病の流行や豚熱の近隣県での散発、台風13号の線状降水帯や珍しくなくなった夏の猛暑日の増加といった自然との対峙、物価高騰下での消費者心理による高価格食品の買い控えなどマイナス材料がある一方で、生産コストを反映した生産物価格への転嫁は卵、乳製品を中心に徐々に進んできており、消費者の理解が進みつつあること、新型コロナウイルス感染症の5類移行による消費の回復といった明るい兆しも見えてつあります。

こうした複雑な状況下で、千葉県の主要家畜の飼養戸数・頭数は、「乳用牛」「採卵鶏」は減少している一方、「豚」「肉用鶏」は増加となっており畜種によって差が生まれてきていることから、今後は状況に応じたきめ細やかな事業展開を意識すべき状況と認識しています。

当会では、引き続き個別経営指導や補助事業の導入などの経営支援、農場HACCPや衛生指導・支援などの家畜防疫、畜産フェアなどの消費者交流、マルキンや肉用子牛制度の推進などの経営安定といった事業を中心に千葉県畜産のために県や関連団体と連携して実施してまいりますので、変わらぬご理解とご協力をよろしくお願いいたします

むすびに、令和6年の干支「甲辰」は、新たな出発や成長、活力に満ちた時期を意味すると言われます。殻を破って成長する「昇竜」の年となるようお願いいたします。



公益社団法人千葉県畜産協会
会長 森 英介

令和5年度臨時総会の開催

令和5年12月7日、千葉県畜産協会会議室において、令和5年度臨時総会を開催、役員の新任に伴う補欠選任について上程し原案どおり承認されました。（総務課 樋屋）

新監事

役職名	氏名	所属団体名
監事	鳶津 昌明	千葉県農業協同組合中央会 専務理事

辞任監事

役職名	氏名	所属団体名
監事	小茂田 勝己	千葉県農業協同組合中央会 前専務理事

令和5年度千葉県急性悪性家畜伝染病防疫活動演習の開催

千葉県では高病原性鳥インフルエンザ及び豚熱の発生時に、防疫作業を円滑に行うため、県職員及び関係者による、県内畜産農場での発生を想定した防疫活動演習が行われており、令和5年度については下記のとおり実施されています。（経営・環境課 小倉）

【防疫活動演習概要】

実施日：令和5年10月19日（木）10：00～15：00

場所：山武市農村環境改善センター

参加者：県関係機関、市町村、関係団体等 計162名

内容：

（1）防疫作業説明

- ア 急性悪性家畜伝染病発生時の防疫活動従事者の一連の動きについて
- イ 養鶏場における殺処分
- ウ 豚熱発生時の殺処分
- エ 防疫服等着脱方法



SS～農場間のバス乗車



鶏舎内作業

（2）防疫作業実地演習

- ア 作業準備：受付・資材配布・健康管理
- イ 防護具等の着脱
- ウ 養鶏場における殺処分・消毒
集合場所（サブステーション）から仮定の発生農場に移動し、補鳥・ペール詰め（生鶏）、殺処分（模擬鶏）、鶏の詰め替え・計数・報告、作業終了後の消毒
- エ 豚熱発生時の殺処分方法（模擬豚を使用した実演）



鶏殺処分演習



豚熱殺処分実演



畜産に学びの場を。

FARMinar ファーマナー

お客さま専用オンライン情報配信サービス

POINT1
どこからでも参加できる
オンラインセミナー

POINT2
専門家による飼養管理や
農場運営に役立つコラム

ZENOAQ
Gazing at the future



畜産関係施設リース（通常リース）のご案内

通常リースのほか、国等の補助事業による補助付リースも実施（補助残の価額で貸付け）しております。

（公財）畜産近代化リース協会のリース事業（通常リース）の特徴・仕組み

◎経営資金が有効に使えます

機械の導入時に多額の購入資金を必要としないので、資金を有効に生かすことができます。

◎導入する機械施設、購入業者が選べます

リース物件は、農家が自由に選定でき、購入価額も業者と交渉して決めていただきます。

◎リース物件は、リース期間終了後は自分のものになります

最後に支払う譲渡価額は、購入価格の10%相当額又はゼロ（リース料返済額の平準化）のいずれかを選択出来ます。

◎リース期間中は、偶発的事故の損害が補償されます

リース機械施設は割安な掛金で損害保険（動産総合保険）に一括加入されるので、リース期間中の火災・落雷・盗難等偶発的な事故による損害が補償されます。

◎農家には農業協同組合等を通じてリースされます

リース物件は、農家が選んだ業者から当協会が購入し、農業協同組合等にリースします。農家は、この農業協同組合等から再リースされます。

◎特認貸付けもできます

リース協会の理事長が特に必要として認めるときは、特認でリースすることができます。本措置を利用して、成分分析機器などもリース可能です。

◎リース期間の短縮・延長ができます

農家の要望によって、例えば法定耐用年数7年の機械の貸付けにおいて、通常のリース期間6年を4年から9年の範囲で変更することができます。

◎中古機械もリースします

一定の要件を満たすものは、中古機械（機械施設の種類及び耐用年数の残存期間は問いません。）もリースの対象となります。

◎信用保険にも加入（任意）できます

当協会から畜産機械施設のリースを受けている農家の方が、いろいろな事情で経営が破たんし、リース料を納入できなくなって保険事故と認定された場合に、保険会社が代わりに保険金として支払う保険制度です。

◎随時、迅速に貸付けします

当協会のリース申請は、随時、受け付けており、貸付契約も迅速な処理で、農家が必要な時に早急な機械施設の整備が可能です。

詳しいことをお知りになりたい方は、（公社）千葉県畜産協会、最寄りの農業協同組合
又は（公財）畜産近代化リース協会までご連絡ください。

（公財）畜産近代化リース協会

TEL:03-3584-0899 FAX:03-3584-0758

（公社）千葉県畜産協会 総務・企画部 担当：榎屋

TEL:043-242-5417 FAX:043-238-1255

第61回畜産関係試験研究成果発表会 動画配信のお知らせ

千葉県農林水産技術会議畜産部会主催の試験研究成果発表会は、今年度より、家畜の伝染病が流行する冬期を避け、12月中旬までに開催いたしました。会場にご来場いただき、貴重なご意見をいただきましたことに感謝申し上げます。

今後は、令和6年2月中旬から約1ヵ月間、「千葉県公式セミナーチャンネル」にて動画配信を行います（養豚の部の中央家畜保健衛生所の演題を除く）。どなたでも視聴が可能ですのでぜひご覧ください。

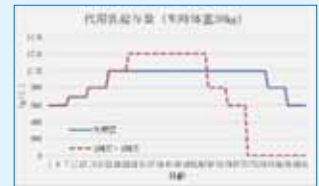
また、資料をご希望の方は畜産総合研究センターまでお問い合わせくださいますようお願い申し上げます。（千葉県畜産総合研究センター）

酪農・肉牛部門

◆哺育管理の違いが黒毛和種子牛の発育に及ぼす影響の解明

（畜産総合研究センター乳牛肉牛研究室 三根 琴美）

人工哺育において哺乳期間を3週間短縮し哺乳量を1.2倍にした結果、離乳時の増体低下があったが、対照区とほぼ同等の増体を示した。離乳方法の改善で更なる発育が見込める。 試験の代用乳給与量→



◆ホルスタイン種未経産牛における効果的なショートシンクの検討

（畜産総合研究センター市原乳牛研究所 久保田 尚）

ホルスタイン種未経産牛において、最大卵胞が10mm以上且つ2番目に大きい卵胞が8mm以上の個体にショートシンクを処置すると良好な繁殖成績が得られた。 超音波画像診断装置での画像診断→



◆気候変動に対応した冬作飼料作物の安定的な栽培技術

（畜産総合研究センター企画環境研究室 鈴木 一好）

本県で奨励していた冬作飼料作物の播種期について、イタリアンライグラスで11月上旬まで、年内刈りエンバクで9月中旬まで延長が可能である。

←牧草の収穫作業



◆気候変動に対応したトウモロコシ（単播）の安定的な栽培技術

（畜産総合研究センター企画環境研究室 岡庭 就祐）

令和3年と令和4年にトウモロコシを6旬別に分けて播種したところ、播種時期の違いによる生育および収量に特徴がみられた。加えて年次間で収量の優れる播種時期が異なった。

←トウモロコシの栽培

◆鹿児島全共で取り組んだ千葉県の早期肥育について

（畜産総合研究センター乳牛肉牛研究室 三根 琴美）

全共出品牛では24ヵ月の早期肥育でも高品質な牛肉の生産が可能であった。出品候補牛の飼養管理や発育、血液性状等の調査結果とともに、早期肥育技術の課題を情報提供する。 鹿児島への出発式→



◆暑熱対策の違いが乳牛の生産性に及ぼす影響についての現地調査

（畜産総合研究センター乳牛肉牛研究室 倉地 充）

要望課題で取り組んでいる乳牛の暑熱対策調査において、今夏の現地における暑熱状況や対策効果等について関係機関と連携し調査を行ったので、その内容について紹介する。

赤外線サーモグラフィカメラを使用した牛の体表面温度の測定→



養豚部門

◆日本型豚洗浄ロボット開発に向けた実証実験

(畜産総合研究センター養豚養鶏研究室 井出 深)

市販化に向けて開発された日本型豚舎洗浄ロボットは、洗浄効果を落とさず人手による洗浄時間を削減でき、予備洗浄として有効であることが明らかとなった。

豚舎洗浄ロボットでの洗浄の様子→



◆つる植物で仕立てた遮へい壁による畜舎周辺の臭気低減効果の検討

(畜産総合研究センター企画環境研究室 中代 浩之)

遮へい壁は臭気や粉塵の拡散防止効果があるが、今回、遮へい壁の壁材につる植物を用いた場合の拡散防止効果について検討を行ったので、その結果を報告する。

粉塵の風洞試験の様子→



◆養豚排水におけるBODおよび硝酸性窒素等の簡易測定法の検討

(畜産総合研究センター企画環境研究室 長谷川輝明)

ポケット型塩分計を利用することで高濃度域のBODを推定できる可能性がある。また、ポケット型pH/EC計を利用することで硝酸性窒素等を推定可能であった。

←ポケット型塩分計での測定

養鶏部門

◆採卵鶏におけるアニマルウェルフェアに配慮したケージシステム利用の検証

(畜産総合研究センター 養豚養鶏研究室 小形 次人)

赤玉卵鶏を造作アニマルウェルフェア対応ケージで448日齢まで飼育し、産卵成績、卵質成績、鶏の行動、ストレスホルモンなどを調査したので紹介する。

造作ケージの遮光したネスト部分→



◆採卵鶏主要銘柄長期飼育比較調査 (畜産総合研究センター 養豚養鶏研究室 能瀬 祥吾)

8銘柄の採卵鶏について、700日齢までの長期飼育のうち、420日齢までの成績を取りまとめた結果、ほとんどの銘柄鶏において育成期の発育が優れ、成鶏期において高い産卵持続性を示した。

8銘柄の鶏卵→



◆県内採卵鶏鶏舎における吸気口構造調査 (畜産総合研究センター 企画環境研究室 齊藤 健一)



側面吸気口

妻面吸気口

ウインドウレス及びセミウインドウレス鶏舎内の温度や換気量を制御する吸気口部分の構造について、県内8農場の現地調査を実施したのでその概要を報告する。

←吸気口の写真

お問い合わせ先

●千葉県畜産総合研究センター 【TEL: 043-445-4511 FAX: 043-445-5447】

●千葉県農林水産部畜産課 【TEL: 043-223-2939 FAX: 043-222-3098】

※詳細は畜産総合研究センターホームページ

(<http://www.pref.chiba.lg.jp/lab-chikusan/>) をご覧ください。



肉用子牛生産者補給金制度

本制度は肉用子牛の価格が低落した場合に、生産者補給金を交付し、肉用子牛生産の安定等を図ることを目的としております。加入を希望する方は事務局までお問い合わせください。

また、契約者死亡、経営中止、経営移譲、個人から法人への移行等、現在の契約に変更が生じた場合は、速やかに事務委託先を通じて報告をお願いいたします。（経営・環境課 小倉）

◆肉用子牛の保証基準価格・合理化目標価格及び発動状況

（単位：円/頭）

区分		黒毛和種	褐毛和種	その他の肉専用種	乳用種	交雑種
保証基準価格		556,000	507,000	325,000	164,000	274,000
合理化目標価格		439,000	400,000	256,000	110,000	216,000
5年度 第2四半期※	平均売買価格※※	521,600	553,000	-	196,900	299,600
	補給金単価	34,400	-	-	-	-
5年度 第3四半期※	平均売買価格※※	522,500	574,500	-	182,900	326,600
	補給金単価	33,500	-	-	-	-

注：価格は税込み。

※「その他の肉専用種」については、令和2年度から算定期間を1年（4月～3月）としている。

※※「平均売買価格」については、指定家畜市場における指定肉用子牛の取引価格から算出。

和子牛生産者臨時経営支援事業

和子牛生産者のセーフティネットを臨時的に措置し、肉用子牛生産基盤の安定を図る事業です。

市場等で取引される和子牛のブロック別平均売買価格が発動基準を下回った場合に、当該平均売買価格と発動基準の4分の3を支援。交付対象子牛は、肉用子牛生産者補給金制度に係る肉用子牛であって、販売したことを確認できる和子牛となります。（経営・環境課 小倉）

◆発動基準価格及び平均価格等

（単位：円/頭）

（令和5年7月～9月分）

品種・ブロック	発動基準価格	平均価格	支援交付金単価	参考		
				肉用子牛生産者補給金単価	補給金と支援交付金の合計単価	
黒毛和種	600,000	北海道	594,618	4,000	34,400	38,400
		東北	527,338	33,000		67,400
		本州関東以西・四国	578,029	16,400		50,800
		九州・沖縄	502,097	47,600		82,000
褐毛和種	550,000	543,317	5,000			
その他の肉専用種	350,000	-	-			

（令和5年10月～12月分）

黒毛和種	600,000	北海道	578,717	15,900	33,500	49,400
		東北	529,588	33,000		66,500
		本州関東以西・四国	578,065	16,400		49,900
		九州・沖縄	500,496	49,500		83,000
褐毛和種	550,000	565,386	-			
その他の肉専用種	350,000	225,689	22,500			
			R5. 1～3月販売分			
			18,700			
			R5. 4～12月販売分			

肉用牛肥育経営安定交付金制度（牛マルキン）

本制度は、肥育牛1頭当たりの標準的販売価格が標準的生産費を下回った場合に、肉用牛の生産者に対し、その差額の9割を交付金として交付することにより、肉用牛の生産者の経営に及ぼす影響を緩和することを目的としています。肉用牛肥育経営安定交付金制度（牛マルキン）に加入して経営の安定を図りましょう。（企画課 飯沼）

◆交付金の交付状況

（単位：円/頭）

区分		標準的販売価格 (A)	標準的生産費 (B)	差額 (C) = (A) - (B)	交付金単価 (D) = (C) × 0.9
令和5年 7月	肉専用種	1,163,360	1,262,956	△99,596	89,636.4
	交雑種	703,381	754,160	△50,779	45,701.1
	乳用種	481,097	522,544	△41,447	37,302.3
令和5年 8月	肉専用種	1,093,469	1,267,438	△173,969	156,572.1
	交雑種	687,964	750,901	△62,937	56,643.3
	乳用種	478,967	515,131	△36,164	32,547.6
令和5年 9月	肉専用種	1,111,953	1,271,513	△159,560	143,604.0
	交雑種	697,162	756,124	△58,962	53,065.8
	乳用種	477,812	467,993	9,819	-

注：肉専用種は千葉県単価です。また、交付金は1円単位で交付となります。

◆牛マルキン制度では繁殖雌牛や種雄牛は対象となりません！

繁殖雌牛や種雄牛を誤って申込んだことが分かった場合や、申込の後に繁殖に仕向けた場合は、速やかに本会に報告の上、「異動報告書（または削除依頼書）」を提出してください。

酪農家・肉用牛農家の皆様へ

牛トレーサビリティ制度 あなたの牛は大丈夫？

☆所在不明牛処理対象の牛の検索サービスからの除外に関するお知らせ


所在不明牛の処理について、令和5年8月4日から処理対象となる牛のリストが（独）家畜改良センターのホームページに掲載されていましたが、掲載される所在不明牛のデータ更新とともに、処理対象となる牛について「牛の個体識別情報検索サービス」から除外（検索不可）となっております。

☆現存する牛について「牛の個体識別情報検索サービス」で検索できない場合は？

現存する牛について「牛の個体識別情報検索サービス」で検索できない場合は、関東農政局千葉県拠点までお申し出ください。状況等確認できたうえで検索除外解除（検索可）となります。

なお、令和6年7月中まで検索除外を継続し、その後、8月中に最終的な確認・整理が行われたうえで、農林水産大臣の職権により完了処理（便宜上、死亡処理）が行われる予定です。

☆牛の出生や異動の届出は、速やか、かつ正確に行いましょう！

	<p>牛の管理者には、牛トレーサ法に基づく耳標の装着及び各種届出が義務づけられています。</p>	<p>届出をせず、又は虚偽の届出をした場合には、牛トレーサ法に基づく罰則の対象となります。</p>	<p>さらに、各種補助金の対象から除外されたり、返還を求められる場合もあります。</p>
-------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------	---------------------------------------------------	----------------------------------------------

牛トレーサビリティ制度に関するお問い合わせは…

- ・関東農政局 消費・安全部 畜水産安全管理課 TEL:048-740-5066
- ・関東農政局 千葉県拠点 TEL:043-380-0778

令和5年度千葉県畜産フェア開催！

2023年11月3日（金・祝）、三井アウトレットパーク木更津のピアストリート広場において、千葉県畜産フェアが千葉県の後援、関係団体、出展団体等の協力、また、多数の団体から協賛をいただき盛大に開催することができました。



開会式には、千葉県畜産協会 森会長（挨拶代読：富田専務理事）、千葉県農林水産部 崎山生産流通戦略担当部長が出席され、出展者に激励の言葉をいただきました。

好天にも恵まれ、会場には非常に多くの来場者に訪れていただきました。

『千葉の畜産を「食べよう」「話そう」「知ろう』をテーマに、県産農畜産物・工芸品の販売及びPR、千葉県畜産に係る展示・体験・相談会、抽選会を実施し、県産畜産物や県産食品の消費拡大及び食育等の推進に努めることができました。

☆出展団体

各畜産関係機関・団体等より下記のとおり出展しました。

千葉県農林水産部畜産課



- ・県PR、畜産の紹介
- ・畜産クイズ実施
- ・アンケート配布 など



房総ポーク販売推進協議会



- ・房総ポーク豚焼肉販売



千葉酪農農業協同組合/千葉県牛乳普及協会



- ・県産牛乳の試飲
- ・ほうじ茶ラテの試飲



千葉県食肉消費対策協議会



- ・食肉のパネル展示
- ・アンケート配布



千葉県農業協会



- ・県産鶏卵販売
- ・卵の啓発活動



千葉県卵業協会



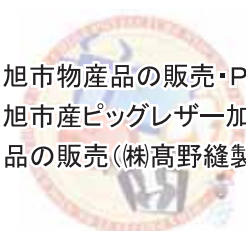
- ・県産鶏卵販売 など



千葉県食肉公社/旭市観光物産協会



- ・旭市物産品の販売・PR
- ・旭市産ピッグレザー加工品の販売(株高野縫製)



かずさ和牛肥育研究会



- ・かずさ和牛焼肉販売



せんば牛グループ



- ・せんば牛焼肉販売
- ・せんば牛カレーの販売



千葉県食肉消費対策協議会



- ・国産はちみつの販売、試食(ひふみ養蜂園)



NPO法人いきいき畜産ちばサポートセンター



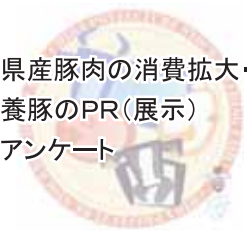
- ・畜産なんでも相談
- ・アンケート
- ・県畜産物販売(近藤牧場)



ナイスポークチバ推進協議会



- ・県産豚肉の消費拡大・養豚のPR(展示)
- ・アンケート



小六茶屋/千葉県移動販売車連盟



- ・チバザビーフ及びチバザポーク使用料理の販売



千葉県畜産協会/千葉県畜産物消費拡大推進協議会



- ・畜産品等が当たる抽選会の実施(計1,000本)



☆協賛・協力団体

- 一般社団法人千葉県農業会議
- 一般社団法人千葉県配合飼料価格安定基金協会
- 公益社団法人千葉県獣医師会
- 柴畜産(日の出ポーク)
- 全国農業協同組合連合会千葉県本部
- そうさ若潮牛振興協議会
- 千葉県家畜商協同組合
- 千葉県食肉事業協同組合連合会
- 千葉県全日本畜産経営者協会
- 千葉県農業共済組合

※出展団体については重複するため割愛しております

- 千葉県馬事畜産振興協議会
- 千葉県酪農農業協同組合連合会
- チバザビーフ協議会
- チバザポーク販売推進協議会
- 千葉産直ビーフ研究会(しあわせ絆牛)
- 千葉北部酪農農業協同組合(八千代黒牛)
- 株式会社シェフミートチグサ
- 株式会社惣左衛門(柏幻霜ポーク)
- 株式会社堀江ファーム
- 有限会社ジェリービーンズ(元気豚)

畜産フェアにつきましては、今後も継続して実施してまいります。引き続き関係各位のご協力をよろしくお願いいたします。(経営・環境課 小倉)

わたしたち森久保薬品は
人と動物の「これから」を真剣に考えています。

 **森久保薬品株式会社**
<http://www.morikubo.co.jp>



PRRS地域防疫セミナー開催

旭市では、今年度から地域養豚生産衛生向上対策支援事業（補助元：日本中央競馬会）を活用しPRRS（豚繁殖・呼吸障害症候群）対策に取り組んでいます。（生産課 金杉）

◎第2回PRRS地域防疫セミナー（2023.9.22 旭市民会館）

（有）ブライトピックの北條先生より、「PRRSの基本」と題し、自農場での具体的な対策を交えた内容について講演いただきました。「地域的な状況もあるが、旭市は密集地域なため、ステージⅢ（安定）を安定的に維持していきたい」とのお話がありました。



《ステージⅢを維持するために》

- ・自農場の状況を知り、バイオセキュリティを高めることが一番重要。（特に堆肥運搬には気を付けて行っていただきたい）
- ・母豚を安定させ、母子感染を起こさせない。
- ・育成豚は白で導入する。
- ・洗浄、消毒、乾燥の徹底。空舎期間は7日以上が望ましい。

続いて、アイデアス・スワインクリニック早川先生より、「ステージ採血の進捗状況」と題し現在の事業による採血の進捗について講演いただきました。「前回事業では、ステージマップ・クラスターマップを作成したが、活用出来なかった。今回は各農場の検査結果を一欄にし、皆さんの意見を聞きながら活用していきたい」とのお話がありました。



《9/22現在の採血の進捗状況》

- ・採血済 39戸（81%）
- ・採血予定 6戸（13%）
- ・未定 3戸（6%）

◎第3回PRRS地域防疫セミナー（2023.11.22 旭市民会館）

チョコマロンライブストックパートナーの矢光先生から旭市内で担当されている農場の現状と対策について講演いただきました。



《現状》

- ・農場のある地域では、冬～春にかけてPRRSが流行。
- ・分娩前後の母豚から感染拡大し、感染脱却ができない状況。

《対策》

- ・母豚群免疫安定が最も重要なため、交配舎にはピンクの状態でも母豚を導入したいため、6カ月齢→4カ月齢の導入へ変更。

続いて、アイデアス・スワインクリニック早川先生より、「旭市内ステージング検査のまとめ」として、事業実施したモニタリング検査結果について講演いただきました。



《傾向》

- ・離乳舎の30、45、60日齢がPCR陽性になりやすい。
- ・90日齢は離乳舎からの持続感染又は肥育での再感染によりPCR陽性になるパターンがある。
- ・肥育後期（150日、180日）はほぼPCR陰性。

《PRRS対策の確認》

- ・なるべく上流で動かさない（母豚、哺乳豚は死守）。対策⇒適正なワクチン接種。更新管理（馴致含む）。
- ・感染を遅らせるだけで被害が軽減。対策⇒農場又はピッグフローのどこに野外ウイルスがいるか把握。
- ・農場環境の維持。対策⇒バイオセキュリティの強化。モニタリング。

令和5年度千葉県肉豚共進会 富里市の佐々木謙斗氏が農林水産大臣賞を受賞！

令和5年度千葉県肉豚共進会を10月3日（火）～5日（木）旭市の千葉県食肉公社を会場として開催いたしました。

全体の成績としては64組128頭の出品数で、上物頭数101頭、上物率78.9%、平均枝肉重量77.6kgという結果で、その中から比較審査を行い、富里市の佐々木謙斗氏が名誉賞を受賞いたしました。



名誉賞 受賞者 富里市 佐々木 謙斗 氏

名誉賞に輝いた佐々木氏の出品豚は、雌は極上で枝肉重量80.0kg、去勢は上で77.0kgとほぼ揃っており、枝肉のまとまりが良く、肉質の点でも脂肪や肉の色、締め・きめの点で素晴らしい枝肉でした。（生産課 金杉）

賞	出品 No.	市町村	氏名
名誉賞	10	富里市	佐々木 謙斗
優等賞 1 席	26	東庄町	鈴木 治彦
優等賞 2 席	34	香取市	青柳 耕一
優等賞 3 席	19	東庄町	石毛 仁樹
優等賞 4 席	59	旭市	杉崎 繁
優等賞 5 席	7	富里市	佐々木 一則

上位入賞豚の買い増し	
名誉賞	1000 円/kg
優等賞（1 席～2 席）	100 円/kg
優等賞（3 席～5 席）	50 円/kg
優等賞（6 席～10 席）	30 円/kg
極上	100 円/kg

<<脂肪酸の測定結果>>

	オレイン酸	一価不飽和脂肪酸	多価不飽和脂肪酸	飽和脂肪酸
上位 11 組 (22 頭) 平均値	34.9	37.5	15.8	45.5



チバザポーク便り

チバザポーク販売推進協議会

☆東の匠SPF豚を使用したポークカレーが誕生しました！

「東の匠SPF豚」を余すことなく味わっていただきたいという想いから豚肉全部位を使用したゴロゴロ仕立ての「東の匠ポークカレー」が誕生しました。豚肉の旨味、しっかりとスパイスの効いた味わいあるカレーです。是非ご賞味下さい。



☆スーパーマーケット・トレードショー2024に出展、「柏幻霜ポーク」「恋する豚」「オリヴィアポーク」をPRします！【千葉市：幕張メッセ】（2024/2/14～16）



千葉県では全国に向けての販路拡大を図るため、一般社団法人全国スーパーマーケット協会が主催する第58回スーパーマーケット・トレードショー2024に千葉県ブースを設置、出展。その千葉県ブースにて「柏幻霜ポーク」「恋する豚」「オリヴィアポーク」のPRを実施します。



イベント情報等詳細はこちらから！▶ <https://chibathepork.jp/>



1. 衛生・経営・環境・部会活動スタート！ 2023/10/17

協議会として取り組むべき課題として、特に重要な①衛生部会、②経営部会、③環境（臭気）部会の3つに絞り部会活動がスタート。第1回目の会議は次の内容で開催されました。

衛生部会 （部会長：林 浩之）	・密集地域での衛生意識の強化と地域対策の推進
経営部会 （部会長：北田 好克）	・経営改善のためのベンチマークの取組参加推進
環境部会 （部会長：熱田 力）	・環境対策の法規制把握と農家戸々の臭気問題取組



2. 令和5年度第1回 関東養豚協議会開催！ 2023/11/16

関東8県（神奈川・千葉・茨城・栃木・群馬・埼玉・山梨・長野）で創る協議会は、各県地域の情報から問題点を探り、その改善により将来安定した養豚経営を図る目的で開催しています。

本年は神奈川県が幹事県として、第1回会議が開催され、協議の中でJPPAへの要請内容が決議されました。

- (1) 飼料対策の強化（支援事業の継続・拡充）
- (2) 豚熱対策の強化（国産経口ワクチンの早期開発・県域を越えた野性イノシシ対策）
- (3) 肉豚経営安定交付金（豚マルキン）制度の見直し（生産項目の現状に則した見直し）

3. JPPA 青年部主催「俺たちの豚肉を食ってくれ」協力参加！ 2023/11/18

4年ぶり通算第17回目は、東京有楽町駅前広場と多くの通行人が行きかう駅前広場で、消費者との触れ合いの中で全国から集まった若手生産者が調理した「しゃぶしゃぶ」の試食提供を通じて国産豚肉の美味しさを紹介し国産豚肉消費拡大キャンペーンとして開催されました。

若手生産者88名の参集に加え、千葉から着ぐるみ2体が参加し、会場を盛り上げました。

消費活動に加え全国の若手生産者による交流の場として大切なイベント。今後も、若手生産者の活発な活動が大いに期待されます。



4. 「第47回千葉市民産業祭り」出店・展示参加！ 2023/11/23

地元で生産される食材（野菜・食肉・魚等）を活用した産業祭りとして「千葉湊大漁まつり」が千葉市ポートタワー・ポートパークにおいて盛大に開催されました。

協議会では、県産豚肉消費拡大を目的に出店及び展示参加。焼き肉販売、クイズ・アンケートによる抽選で、コース1kg40本他豪華賞品を提供し、千葉県産豚肉の美味しさと豚に関する情報を発信いたしました。



5. 令和5年活動報告会盛大に開催！ 2023/12/6

恒例の「活動報告会」を千葉市内京成ホテルミラマーレにおいて開催。特別講演では、「最高の体調を維持する健康習慣」と題し、順天堂大学医学部教授：小林弘幸先生から、有意義なお話をお聞きし、報告会では、主催者挨拶、来賓祝辞、乾杯、映像による活動報告、消費者・サポーターとの情報交換会、千葉ロッテマリーンズ選手とのトークショー、養豚産業を守り発展させるための決議と盛りだくさんの内容で盛大に開催できました。



【決議】

- (1) 飼料・資材価格の高騰・疾病対策と大変厳しい環境にある私達生産者は、常に経営改善に努め、品質の高い豚肉を安定的に消費者に届けるため、努力してまいります。
- (2) 経営存続のため、法的殺処分された家畜は、レンジリング装置の活用により埋却から焼却処理への方向転換を強く求め活動してまいります。

6. 令和6年(2024年)熊谷知事への年頭挨拶！ 2024/1/5

能登半島地震と被災地では、厳しい年明けとなりました。

恒例となっている熊谷知事への年頭挨拶に出向き本年も変らぬご指導、ご支援をお願い致しました。

併せて穴澤、黒野両副知事、農林水産部長室、畜産課他農林関係各部署を廻り年頭の挨拶。

また同日、日本政策金融公庫 千葉支店 井上支店長を訪問し情報交換いたしました。



ナイスポークチバ推進協議会
事務局

公益社団法人千葉県畜産協会 事業部 (担当:加藤)
TEL:043-241-3851 FAX:043-238-1255

NPO法人いきいき畜産ちばサポートセンター通信

1. 役員会報告

令和5年12月16日（土）、公益社団法人千葉県畜産協会（以下、千葉県畜産協会）会議室に於いて千葉県畜産協会 富田専務理事（副理事長兼務）の来賓のもとに、役員11名の出席を得て第3回役員会を開催し、事業進捗状況や第2回畜産研修会等について協議しました。

主な内容等は下記のとおりです。

【令和5年度事業進捗状況について】

（1）農場HACCP構築支援指導（公益社団法人中央畜産会）

本事業は千葉県畜産協会からの依頼に基づき希望するHACCP認証構築農場や認証取得維持・更新農場へ指導員（20名）を派遣して農場の支援に取り組む内容です。

現在、県内では27か所の農場や農業大学校、農業高校等で認証構築に取り組んでいます。

また、維持の支援を希望する農場等は46農場あり、内部監査、教育・訓練、HACCP会議等を支援し、各農場の更なる飼養衛生管理の強化・向上の支援に取り組んでいます。

ア) 今年度は新たに肉用牛4農場が認証を取得し、更に3農場が申請中です。

イ) 地域取組促進活動：養豚2グループ、肉牛2グループ（合計31農場）、指導員延30名及び各農業事務所や各家畜保健衛生所等の協力・支援を頂いて開催しています。

ウ) 外国人技能実習生出前講座：養豚農場2件（ベトナム、モンゴル、タイ）及び酪農1件（タイ）で開催しました。



酪農場における「外国人技能実習生」を対象とした研修会（R5.9.22）

（2）死亡牛等の受入及び保管等補助業務受託（千葉県公募事業）

昨年同様に中央家畜保健衛生所との委託契約に基づき「死亡牛等の受入及び保管等の業務を補助する業務」を会員4名の協力を得て円滑に推進中です。

（3）非常勤講師の紹介

千葉県農業大学校から千葉県畜産協会に対して、畜産部門8講座の非常勤講師について人材紹介の依頼があり、会員8名を紹介しました。

（4）消費者交流・動物情操教育事業

千葉県畜産フェアに参加（11月3日、木更津アウトレット）、会員4名の協力を得て農場HACCPパネル展示及びパンフレット、消費者HACCPアンケート調査を実施しました。

☆アンケート結果（128名回答）

- ・食の安全に何らかの不安を感じている人が（不安+何となく不安）：63%
- ・農場HACCPについて（以前から知っている+聞いたことがある）：37%
- ・農場HACCP認証商品（高くても買ってみたい）：58%

☆まとめ

- ①食品偽造報道や同じ食品・食材間の価格差、そして輸入食材に不安感が強く、特に、農薬などの混入物・付着物、飼料や環境、保存状態などの見えない部分に不安を感じているようである。
- ②農場HACCP認証制度の周知度は、少しずつ上昇しており、また、説明に対して関心が高く、理解度も高かった。



- ③農場HACCPにより生産された食材を、平均価格より高くなっても買いたいという方が約6割で、同じ価格なら買いたいという方が4割であった。
- ④農場HACCP認証制度事業を推進することは、食材・食品に対する消費者のご不安を払拭すると共に、「地産地消」・「千産千消」を拡大し、ひいてはわが国における食品自給率の向上に寄与するものと思われる。

2. 令和5年度第2回畜産研修会の開催について

今回の研修は、畜産において国際的な動向を意識した生産が求められてきたSDGsとアニマルウェルフェアをテーマとした内容です。会員や畜産農家、県、市町村、関係団体、関係者等の多数皆様の出席をお待ちしております。

開催日時：令和6年2月22日（木）午後1時30分～4時30分

開催場所：千葉市民会館4階 第3・4会議室（千葉県千葉市中央区要町1-1）

研修会内容：【講演1】午後1時35分～2時20分（45分）

（演題）「農場HACCPとSDGs」の取組について

（演者）NPO法人いきいき畜産ちばサポートセンター会員 三宅 眞佐男 氏

【講演2】午後2時30分～4時（90分）

（演題）アニマルウェルフェアに関する新たな国の指針について

（演者）農林水産省畜産局畜産振興課 課長補佐 眞壁 七恵 氏

3. 会員募集中！

当NPOでは、千葉県内で畜産を営む農家に対し、経営、飼養管理、家畜衛生等の技術を持つ人材の情報を提供し、経営を支援する事業を行うとともに、一般消費者への県内産畜産物消費拡大や児童生徒への動物ふれあい情操教育活動の場を作り、県内畜産振興並びに県民への畜産に対する理解を深めることを目的として活動を行っています。皆さまのご入会をお待ちしております。

現会員数：81名（内訳 個人66名、団体12団体、賛助3団体）

令和5年度現在までの新規加入：個人会員：3名

皆さまのご入会をお待ちしております。

お問い合わせ：NPO法人いきいき畜産ちばサポートセンター事務局（千葉県畜産協会内）

TEL：043-241-1738 FAX：043-238-1255

畜産映像情報

(公社)中央畜産会からのお知らせ

畜産現場の“今”を30分の番組にしました！
映像を各種研修会、セミナーにご活用ください！

配信中の内容：総集編 若き情熱！全国和牛能力共進会 特別区／畜産DX特集 総集編 養鶏・養豚の今に迫る／コントラクターと連携 大分県高田牧場／他

スマートフォンからはこちら
パソコンからはこちらで検索

がんばる畜産

(公社)中央畜産会 経営支援部(情報) TEL03-6206-0846

畜産映像情報
がんばる!畜産!7



チバザビーフ便り

チバザビーフ協議会

☆成田ゆめ牧場「まきばの食欲祭・マルシェ」にせんば牛グループが出店しました！



【成田市：成田ゆめ牧場】（2023/10/7～29までの土日祝）

千葉県産の新鮮な農産物や加工品をお届けする成田ゆめ牧場「まきばのマルシェ」に昨年度に引き続き、せんば牛グループが出店し、焼肉販売等行いました。

☆「かずさ和牛直売会」が5年ぶりに開催されました！【千葉市：千葉家畜市場】（2023/12/9）

千葉県家畜商協同組合・かずさ和牛肥育研究会が主催する直売会が5年ぶりに開催、たくさんのお客様にお越しいただき、アツという間に完売という大盛況ぶりでした。また、無料試食（焼肉）の提供の他、千葉県農業協会に協力いただき県産卵の販売を実施しました。



イベント情報等の詳細はこちらから！ ▶ <http://chibathebeef.jp/>



船橋市の佐久間牧場（酪農）が中央畜産会長賞を受賞しました

令和5年度全国優良畜産管理技術発表会に事例推薦を行った船橋市の佐久間牧場（酪農：佐久間清氏・純子氏）が中央畜産会長賞を受賞いたしました。同牧場は6種類のエコフィードを活用し、年間乳量10,000kg以上の牛群を実現できており、都市部ならではの循環型農業を実践しています。（経営・環境課 小倉）



船橋ケイバ「千葉県畜産賞ハートビートカップ競走」を開催しました



令和5年12月20日（水）に船橋競馬場で冠レース（第11競走）千葉県畜産賞ハートビートカップ競走を開催、和田 譲治騎手が乗るリバイクフルシティが優勝いたしました。表彰式では、優勝馬関係者に千葉県獣医師会 市川会長より賞状の授与が行われ、優勝馬関係者へ千葉県産畜産物が贈呈されました。（企画課 飯沼）

「食の安全・安心」のための第1歩は、
「法令遵守」であることを
改めて認識してください。

地方競馬の収益金は
畜産の振興に
役立てられています。



部 署		TEL	FAX
総務・企画部	総務課	043-242-5417(代)	043-238-1255
	企画課	043-242-6333	
事業部	経営・環境課	043-241-1738	
	衛生指導課	043-241-1738	
	生産課	043-241-3851	

Eメール：info@chiba.lin.gr.jp

URL <http://chiba.lin.gr.jp>